

製品安全データシート

会社名 クミアイ化学工業株式会社  
住所 東京都台東区池之端 1-4-26  
担当部門 生産資材部生産業務課  
電話番号 03-3822-5180  
FAX 番号 03-3827-0825  
作成・改訂 2005年 3月 1日

整理番号 RX003-1

1. 製品名 スカイショットエース

---

2. 物質の特定

単一製品

成分及び含有量：特殊ノニオン界面活性剤 100.0 %

---

3. 危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない。

有害性：皮膚、粘膜を刺激することがある。

危険性：可燃性であり、火気に注意する。

環境影響：環境影響に関する情報はない。

---

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業際には保護具を着用し、皮膚への付着及び吸入を防止する。

風上から作業をして風下の人を退避させ、漏出した場合、周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

除去方法：危険なくできる場合は漏洩措置を施す。

少量の場合には、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

残りは大量の水で洗い流す。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

この場合、濃厚な液が河川等に排出されないよう注意する。

---

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：作業場では長袖の作業着を着用し、接触、吸入防止のためマスク、眼鏡等の保護具を着用する。作業場の換気をよくする。

容器取扱いの注意：作業場では長袖の作業着を着用し、接触、吸入防止のためマスク、眼鏡等の保護具を着用する。作業場の換気をよくする。取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

保管上の注意 : 適当な換気のある冷暗所に密閉して保管する。火気厳禁。

---

## 8. 暴露防止措置

管理濃度 : 設定されていない  
許容濃度 : 日本産業衛生学会（2002年度版）：設定されていない  
ACGIH（2003年度版）：設定されていない  
設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。  
室内での取扱いの場合は局所排気設備等換気設備を設ける。

### 保護具

呼吸器系 : 保護マスク（有機溶剤用）  
手 : 不浸透性の保護手袋  
目 : 保護眼鏡  
皮膚及び身体 : 保護前掛け、不浸透性の靴

---

## 9. 物理・化学的性質

外観 : 液状  
色 : 無色～淡黄色  
臭い : 特異臭を有する。  
pH（1%） : 4～7  
引火点 : 154℃  
密度（比重） : 1.04（20℃）  
溶媒への溶解性 : 水に乳化分散、アルコールに易溶。

---

## 10. 危険性情報

可燃性 : 可燃性の液体を含有するので、火気には注意する。  
安定性・反応性 : 通常取り扱い条件下では安定。  
燃焼時一酸化炭素、二酸化炭素を発生する。  
発火性 : なし

---

## 11. 有害性情報

### 1. ヒトへの健康影響

急性毒性 : 現在のところ知見なし。  
皮膚刺激性 : 接触すると接触部位が赤く炎症を起こすことがある。  
目刺激性 : 目が赤く充血し、痛くなったり、視野がぼけることがある。

### 2. 動物への影響

急性毒性 : 現在のところ知見なし。

---

## 12. 環境影響情報

生分解性 : 現在のところ知見なし。  
蓄積性 : 現在のところ知見なし。  
生態影響 : 現在のところ知見なし。

---

## 13. 廃棄上の注意

1. 焼却処理する場合は地方団体等より認可を受けている専門業者に処理を委託する。
  2. 使用済み空容器は内容物を水洗により完全に除去した後、専門業者に処理を委託する。
  3. 廃棄物の取扱いにあたっては保護手袋等の保護具を着用する。
- 

## 14. 輸送上の注意

国連分類 : - 国連番号 : -

1. 容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
2. 使用済みの容器は場所を定めて保管する。

---

## 15. 適用法令

- 消防法 : 第4類第3石油類(水溶性)  
P R T R法 : 政令による第1種、第2種指定化学物質を含有しない。  
労働安全衛生法 : 18条指定の名称等表示(通知)すべき物質を含有しない。  
化審法 : 特定化学物質、指定化学物質に該当しない。既存化学物質。  
船舶安全法 : 該当しない。  
航空法 : 該当しない。  
火薬類取締法 : 該当しない。  
高圧ガス保安法 : 該当しない。  
海洋汚染防止法 : 該当しない。
- 

## 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。  
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

### 作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター 大阪(年中無休、24時間)

0990-50-2499 (ダイヤルQ<sup>2</sup> 3分300円)

0727-26-9923 (医療機関専用 2000円)

つくば(毎日9時~21時)

0990-52-9899 (ダイヤルQ<sup>2</sup> 3分300円)

0298-51-9999 (医療機関専用 2000円)

---